

第6期(平成23年3月期)
中間決算説明資料

平成22年12月22日



阪神高速道路株式会社

目次

1. 平成22年9月中間期の連結業績	2
2. 平成23年3月期の業績見通し	11
3. 阪神高速グループの概要	14

1. 平成22年9月中間期の連結業績

当中間期連結決算の概要(1)

当社グループの当中間期の連結業績は、営業収益 **934億円**(前年同期比+53億円)、営業損失 **38億円**(前年同期比+10億円)、経常損失 **34億円**(前年同期比+11億円)、当中間純損失 **18億円**(前年同期比▲7億円)となりました。

なお、平成22年度通期の連結業績の見通しは、当期純利益**38億円**となる見込みです。

(1) 高速道路事業

- ◆ 阪神高速道路の一日当たり平均通行台数は、約88万台(前年同期比 2.2%増)と増加傾向となったことなどにより、**料金収入等**は816億円(前年同期比2.5%増)
- ◆ **道路資産賃借料**は変動貸付料制を適用せず、協定に基づく支払額として662億円(前年同期比4.1%増)
- ◆ 機構への債務引き渡しに伴う**道路資産完成高**及び**道路資産完成原価**は修繕工事に係る機構引渡し額の増加等により61億円(前年同期比136.0%増)
- ◆ この結果、高速道路事業において
営業収益は880億円(前年同期比6.6%増)
営業費用は921億円(前年同期比7.5%増)
営業損失は40億円(前年同期比29.0%増)となりました。

当中間期連結決算の概要(2)

(2) 受託事業

- ◆ 京都市道高速道路2号線に係る工事をはじめとして、国や地方公共団体等の委託に基づく道路の新設、改築、維持、修繕等の事業を受託したことにより、
営業収益は41億円(前年同期比9.7%減)
営業費用は41億円(前年同期比8.1%減)
この結果、営業損失は7百万円(前年同期は営業利益70百万円)となりました。

(3) その他

- ◆ 休憩施設の運営、駐車場施設の運営、大阪港咲洲トンネル等の道路管理代行事業等を展開したことにより、
営業収益は13億円(前年同期比37.0%増)
営業費用は11億円(前年同期比53.5%増)
この結果、営業利益は2億円(前年同期比7.8%減)となりました。

セグメント別の連結業績

単位：億円〔単位未満切捨て〕

高速道路事業	営業収益	営業費用	営業利益
■ 高速道路の新設、改築、維持、修繕、災害復旧その他の管理等	(料金収入等) 816 (対前年同期比 +19) (道路資産完成高) 61 (対前年同期比 +35) (その他) 2 (対前年同期比 ▲ 0)	(道路資産賃借料) 662 (対前年同期比 +25) (道路資産完成原価) 61 (対前年同期比 +35) (管理費用) 197 (対前年同期比 +2)	▲ 40 (対前年同期比 ▲ 9)
高速道路事業 計	880 (対前年同期比 +54)	921 (対前年同期比 +63)	▲ 40 (対前年同期比 ▲ 9)
受託事業	営業収益	営業費用	営業利益
■ 国、地方公共団体等の委託に基づく道路の新設、改築、維持、修繕等及びその他委託に基づく事業等	41 (対前年同期比 ▲ 4)	41 (対前年同期比 ▲ 3)	▲ 0 (対前年同期比 ▲ 0)
その他	営業収益	営業費用	営業利益
■ 休憩施設の運営、駐車場施設の運営、道路管理の代行等に係る事業	13 (対前年同期比 +3)	11 (対前年同期比 +3)	2 (対前年同期比 ▲ 0)
全事業 計	934 (対前年同期比 +53)	973 (対前年同期比 +63)	▲ 38 (対前年同期比 ▲ 10)

高速道路事業

単位: 億円〔単位未満切捨て〕

区 分		21年9月 中間期	22年9月 中間期	増減
営業収益	料金収入等	796	816	+19
	道路資産完成高	25	61	+35
	その他	2	2	▲0
		825	880	+54
営業費用	道路資産賃借料(注)	636	662	+25
	道路資産完成原価	25	61	+35
	管理費用	194	197	+2
		857	921	+63
高速道路事業 営業利益		▲31	▲40	▲9

主な増減内容

●営業収益

- ・通行台数は増加傾向にあり、一日当たり平均通行台数は、約88万台(前年同期比2.2%増)
- ・料金収入等(※)は、通行台数の増加等により、816億円(前年同期比19億円増)
- ・道路資産完成高は、修繕工事に係る機構引渡し額の増加等により、61億円(前年同期比35億円増)

※21年9月中間期の料金収入等には、社会実験減収補填金22億円を含めています。

●営業費用

- ・協定に基づく道路資産賃借料662億円(前年同期比25億円増)

(注)機構との協定に基づく、変動貸付料制による貸付料の減算は実施しておりません。

仮に、貸付料の減算(▲78億円)を実施した場合の営業収益、営業費用及び営業利益は、それぞれ880億円(増減なし)、842億円(▲78億円)、37億円(+78億円)となります。

関連事業

単位: 億円〔単位未満切捨て〕

区 分		21年9月 中間期	22年9月 中間期	増減
受託事業	営業収益	46	41	▲ 4
	営業費用	45	41	▲ 3
	営業利益	0	▲ 0	▲ 0
その他	営業収益	9	13	+3
	営業費用	7	11	+3
	営業利益	2	2	▲ 0
関連事業 営業利益		3	2	▲ 0

主な増減内容

●受託事業
 工事進捗率の減等により、
 営業収益は前年同期比4億円の減となり、
 営業利益は前年同期比0.7億円の減

●その他
 道路管理代行事業の受託期間の
 平年度化等により、
 営業収益は前年同期比3億円の増となり、
 営業利益は前年同期比0.2億円の減

連結貸借対照表

単位：億円〔単位未満切捨て〕

資産の部			
科目	H22.3	H22.9	増減
I . 流動資産	2,643	2,534	▲ 109
うち仕掛道路資産	1,823	1,966	+142
II . 固定資産	528	504	▲ 23
資産合計	3,172	3,038	▲ 133

負債・純資産の部			
科目	H22.3	H22.9	増減
I . 流動負債	773	616	▲ 157
II . 固定負債	2,054	2,115	+60
負債合計	2,828	2,731	▲ 96
I . 株主資本	324	306	▲ 18
資本金	100	100	-
資本剰余金	100	100	-
利益剰余金	124	106	▲ 18
II . 少数株主持分	18	-	▲ 18
III . 評価・換算差額等	0	0	+0
純資産合計	343	306	▲ 36
負債・純資産合計	3,172	3,038	▲ 133

主な増減内容

- **流動資産**
 - 譲渡性預金 ▲115億円
 - 現金及び預金 ▲49億円
 - 未収入金 ▲88億円
- **固定資産**
 - ETC設備等 +14億円
 - 減価償却 ▲38億円
- **流動負債**
 - 短期借入金・1年以内返済予定
 - 長期借入金 ▲129億円
 - 未払金 ▲11億円
- **固定負債**
 - 道路建設関係社債・長期借入金 +59億円
- **純資産**
 - 当期純損失 ▲18億円
 - 少数株主持分 ▲18億円

連結キャッシュ・フロー計算書

単位: 億円〔単位未満切捨て〕

区分	21年9月 中間期	22年9月 中間期	増減	主な増減要因
営業活動によるCF	▲ 44	▲ 79	▲ 34	仕掛道路資産に係る支出が増加したこと等により、前年同期より34億円マイナス幅が拡大し、▲79億円となった。
投資活動によるCF	▲ 27	▲ 13	+13	固定資産の取得による支出が減少したこと等により、前年同期より13億円マイナス幅が縮小し、▲13億円となった。
財務活動によるCF	28	▲ 71	▲ 99	機構への債務引渡が増加したこと等により、前年同期より99億円減少し、▲71億円となった。
現金及び現金同等物の 期末残高	254	215	▲ 38	

高速道路会社のキャッシュ・フロー計算書の特殊性

- 高速道路への建設投資は、高速道路会社にとって機構に対する「商品」のため、投資額は『営業活動CF』のマイナスとして、これに見合う資金は借入調達するため『財務活動CF』のプラスとして整理する。
- 高速道路が開通しこれを機構に引き渡す際に、道路資産完成高は『営業活動CF』のプラスとして、借入金の引渡額を『財務活動CF』のマイナスとして整理する。
- 従って、高速道路の投資額が完成高を上回る当中間連結会計期間の『営業活動CF』はマイナスとなる。

当中間期個別決算の概要

単位：億円〔単位未満切捨て〕

損益計算書			
区分	H21.9	H22.9	増減
営業収益	873	925	+51
営業費用	905	964	+59
営業利益	▲ 31	▲ 39	▲ 8
営業外収益	3	4	+0
営業外費用	0	0	▲ 0
経常利益	▲ 28	▲ 35	▲ 7
特別利益	1	1	+0
特別損失	2	1	▲ 0
税引前当期純利益	▲ 29	▲ 36	▲ 6
法人税等	▲ 0	0	+0
当期純利益	▲ 29	▲ 36	▲ 7

貸借対照表			
区分	H22.3	H22.9	増減
総資産	3,097	2,960	▲ 136
流動資産	2,584	2,478	▲ 106
固定資産	512	482	▲ 29
総負債	2,797	2,698	▲ 99
流動負債	770	609	▲ 161
固定負債	2,026	2,088	+61
(うち有利子負債)	1,398	1,243	▲ 154
純資産	299	262	▲ 36
資本金	100	100	-
資本剰余金	100	100	-
利益剰余金	99	62	▲ 36
自己資本比率	9.7%	8.9%	▲0.8%

2. 平成23年3月期の業績見通し

平成23年3月期 連結業績の見通し

単位：億円〔単位未満切捨て〕

区 分		22年3月期 実績	23年3月期 見通し	増減
営業 収益	高速道路事業	1,666	2,475	+808
	料金収入等	1,588	1,614	+25
	道路資産完成高	70	854	+784
	その他	7	7	▲0
	関連事業	115	170	+54
	計	1,782	2,645	+863
営業 利益	高速道路事業	38	23	▲14
	関連事業	5	4	▲1
	計	43	28	▲15
経常利益		52	32	▲19
当期純利益		30	38	+7

連結業績の見通し

当期純利益は、親会社の利益16億円に連結子会社等の利益22億円を加えた38億円(前年実績比7億円増)となる見通しです。

(注) 平成23年3月期の業績見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

平成23年3月期 個別業績の見通し

単位: 億円[単位未満切捨て]

区 分		22年3月期 実績	23年3月期 見通し	増減
営業 収益	高速道路事業	1,659	2,468	+809
	料金収入等	1,588	1,614	+25
	道路資産完成高	70	854	+784
	関連事業	106	153	+47
	計	1,765	2,621	+856
営業 利益	高速道路事業	28	19	▲9
	関連事業	3	2	▲0
	計	32	22	▲9
経常利益		35	25	▲9
当期純利益		18	16	▲2

個別業績の見通し

営業収益は、
 2,621億円(前年実績比856億円増)
 営業利益は、
 22億円(前年実績比9億円減)
 経常利益は、
 25億円(前年実績比9億円減)
 当期純利益は、
 16億円(前年実績比2億円減)
 となる見通しです。

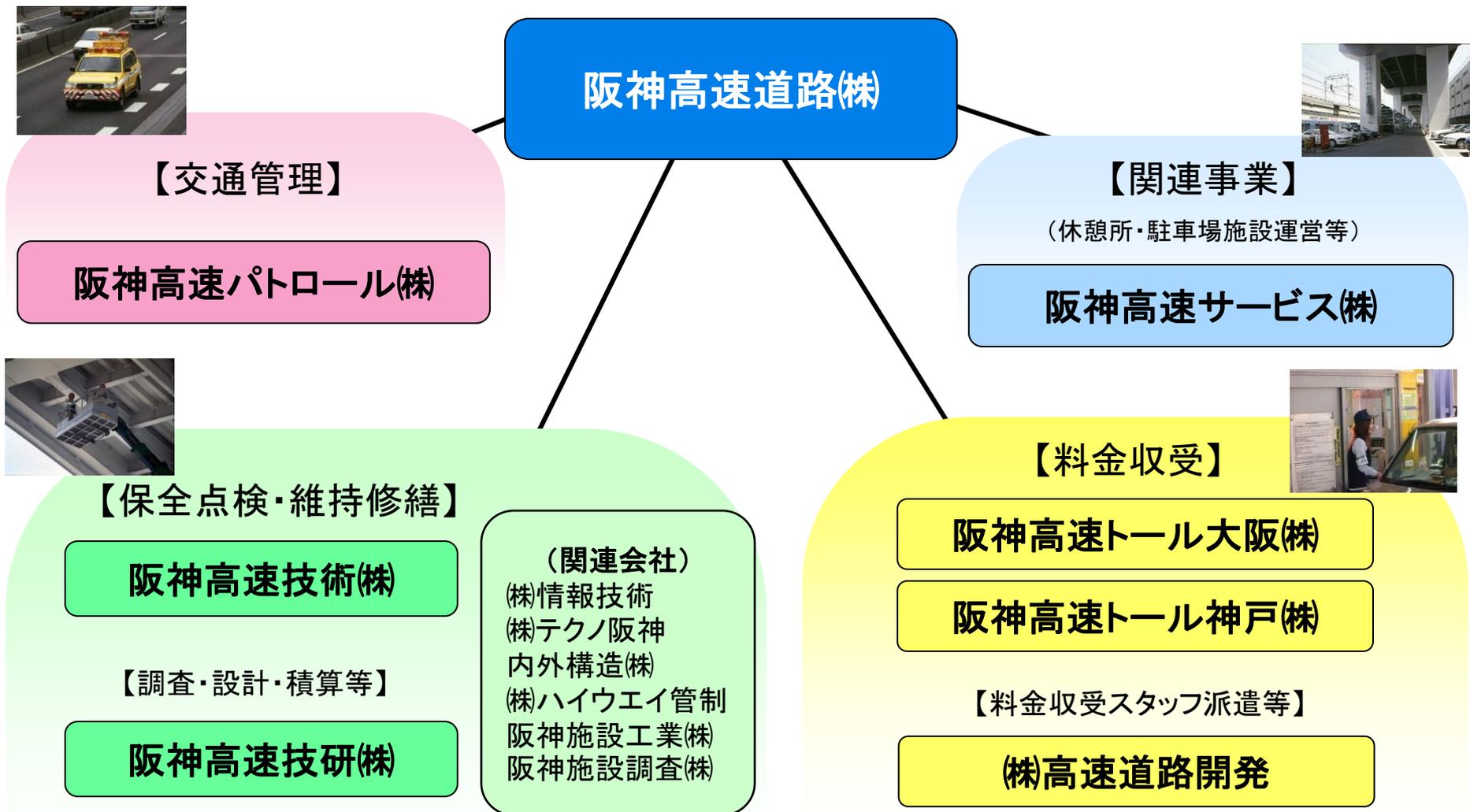
> 高速道路事業は、通期においても交通量は増加する見込みであり料金収入等は1,614億円、神戸山手線の開通等により道路資産完成高は854億円を見込んでいるほか、管理費用の減により、営業利益は19億円を見込んでいます。

> 関連事業は、受託事業、駐車場事業及び道路管理代行業等の実施により、営業収益は153億円、営業利益2億円を見込んでいます。

(注) 平成23年3月期の業績見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化することをご承知おき下さい。

3. 阪神高速グループの概要

グループ経営体制(全体イメージ)



関係会社の状況 ①

連結子会社 平成22年9月30日現在

名称	住所	資本金 (百万円)	主要な事業 の内容	議決権の 所有割合(%) (注)	関係内容
阪神高速サービス(株)	大阪市西区	40	高速道路事業 その他	100	休憩施設及び駐車場施設の運営 並びに広報業務等
阪神高速技術(株)	大阪府中央区	80	高速道路事業	100	保全点検・維持修繕業務
阪神高速パトロール(株)	大阪市西区	10	高速道路事業	100	交通管理業務
阪神高速トール大阪(株)	大阪市西区	50	高速道路事業	100	料金收受業務(大阪地区)
阪神高速トール神戸(株)	神戸府中央区	50	高速道路事業	100	料金收受業務(兵庫地区)
阪神高速技研(株)	大阪市西区	30	高速道路事業	100 (48.9)	調査・設計・積算等業務
(株)高速道路開発	大阪市西区	50	高速道路事業	100 (100)	料金收受スタッフ派遣等

(注) 議決権の所有割合の()内は、間接所有割合で内数となっています。

関係会社の状況 ②

持分法適用関連会社 平成22年9月30日現在

名称	住所	資本金 (百万円)	主要な事業 の内容	議決権の 所有割合(%) (注)	関係内容
(株)情報技術	大阪市西区	20	高速道路事業	11.8 (11.8)	システムに係る運用管理等業務
(株)テクノ阪神	大阪市西区	20	高速道路事業	6.7 (6.7)	機械設備に係る保全点検・維持修繕業務
内外構造(株)	大阪府中央区	21	高速道路事業	6.7 (6.7)	構造物に係る保全点検業務
(株)ハイウェイ管制	大阪市西区	40	高速道路事業	11.3 (11.3)	電気通信設備に係る保全点検・維持修繕業務(大阪地区)
阪神施設工業(株)	大阪市港区	36	高速道路事業	4.7 (4.7)	電気通信設備に係る保全点検・維持修繕業務(兵庫地区)
阪神施設調査(株)	大阪市西区	20	高速道路事業	10.8 (10.8)	建物に係る保全点検・維持修繕業務

(注) 議決権の所有割合の()内は、間接所有割合で内数となっています。

主なトピックス

- ・料金施策の継続実施
（土曜・休日割引等の料金引下げ、環境ロードプライシング 等）
- ・ETC普及促進・利用促進についての取組み
（阪神高速ETC1日乗り放題パス【2010夏】、とくとくパーキング・奈良 等）
- ・PA改善アクションプランによるパーキングエリアのリニューアル
（泉大津PA（海側：H22.4.29）、京橋PA（東行：H22.7.17））
- ・第2次交通安全対策アクションプログラムの策定
（H22～24の3年間で交通事故1,000件減を目標）
- ・建設中路線の整備促進

料金施策の継続実施

◆ 土曜・休日割引等の料金引下げ

□経済対策や高速道路ネットワークの有効活用等の観点から、料金引下げを実施しました。

- ①平日時間帯割引(夜間)
- ②土曜・休日割引
- ③湾岸線連続利用割引
- ④新神戸トンネル連続利用割引 他

◆ 環境ロードプライシング

□国道43号・阪神高速3号神戸線沿道の大気環境改善を目的に、並行する環境影響の比較的小さい臨海部にある5号湾岸線との間に料金格差を設けて交通を誘導し、都心部や住宅地への交通流入を抑制する『環境ロードプライシング』を、平成13年度より実施

□これまで、対象区間や割引率を拡充するとともに、平成22年3月からは、対象車両を大型車から普通車(普通貨物車・マイクロバス等)にも拡充

平日時間帯割引

阪神圏全線において、平日は普通区間・特定区間ともに「時間帯割引」です。(割引率は普通車/大型車共通)

阪神圏全線
夜間・早朝が
お得です!
22時~6時
20%割引
※6時~22時の平日時間帯割引は、平成22年3月31日で終了です。

土曜・休日割引

土曜・休日のご利用については、阪神圏の全路線「終日割引」です。

阪神西線	普通車 700円 → 500円 終日 大型車は20%割引
阪神東線・南線	普通車 500円 → 350円 終日 大型車は20%割引
特定区間	普通車 → 30%割引 終日 大型車 → 20%割引 終日



※平成22年3月からの対象車両の拡充は、センサス大型車(料金普通車)かつETCコーポレートカード利用で、事前登録を行った車を対象に割引を実施。

ETC普及促進・利用促進についての取組み

□まちかどeサービス ETC車載器トクトクキャンペーン (H22.8.2~)

ETC車載器をWeb販売サイトにて、廉価販売し、同時に「まちかどeサービス」へ新規登録された方を対象に阪神高速ETCポイント(1500円分)を付与。

ETC利用率は、平成22年9月には日別利用率が過去最高の**86.3%**を記録

□阪神高速ETC1日乗り放題パス【2010夏】

(H22.7.17~8.29の土曜・休日)

事前に申し込んだ土曜・休日に、ETC通行料金が定額で乗り放題となる企画割引を実施。

合計約10,000名のお申し込みをいただきました。

□とくとくパーキング・奈良

(H22.4.24~5.9、8.20~27、10.9~11.7)

奈良県と連携して、平城宮跡駐車場を「とくとくパーキング・奈良」として運用。観光情報提供と500円分のETCポイント付与によるパーク&バスライド利用の促進。

合計約1,000名のお客様にご利用いただきました。



まちかどeサービス ETC車載器トクトクキャンペーン

ETC車載器本体 7,900円! (税別)で購入できます!

さらに! まちかどeサービスにご登録いただくと阪神高速利用限定ETCポイント1,500円分プレゼント!

ETC車載器トクトクキャンペーン

ETC車載器本体 7,900円(税別) (送料別途) (ギフト対応あり)
ETCポイント 1,500円分付与 (ETCカードにチャージ) (ETCカードの登録が必要) (ETCカードの登録は、まちかどeサービスにて行います) (ETCカードの登録は、まちかどeサービスにて行います) (ETCカードの登録は、まちかどeサービスにて行います)

お申込み・詳しい内容はパソコンから!
<http://www.hankoku-serv.jp/tokutoku-camp2010>
TEL: 06-6543-2233



阪神高速で行こう! 夏の休日ドライブ

詳しくは専用WEBで!

ETC車載器の事前登録が必須です!

¥1,200で 阪神高速1日乗り放題

2010年7月17日~8月29日の土曜日

阪神高速ETC1日乗り放題パス【2010夏】

ETC車載器の事前登録が必須です!

ETC車載器の事前登録が必須です!



とくとくパーキングご利用イメージ

- 事前に会員登録
- ETCカードの登録必須
- 平城宮跡駐車場(奈良西)を利用 [ETCで認証]
- 観光情報を受信
- 500円相当のETCポイントを受け取る

第二阪奈で大阪方面へ帰る [ETCで認証]

ちよつとお得

500円相当のETCポイントを受け取る

無料で快適

【平日1300年祭情報】
14:00~15:00 無料シャトルバスに乗り換えて会場へ!!
※シャトルバスは、おおよそ10分~15分間隔で運行します。

パーキングエリアのリニューアル

阪神高速では、パーキングエリアがお客さまに「ほっ」としていただける場所となるよう、リニューアルを進めています。今年度は、泉大津PA(海側)と京橋PA(1階)が、既にリニューアルオープンしています。

●泉大津PA(海側)リニューアルオープン(H22.4.29)

だんじりで有名な岸和田に近いことから「祭」「和」を基本コンセプトに据え、縁日をイメージさせる通路や屋台風の売店等を設置しました。



●京橋PA(1階)リニューアルオープン(H22.7.17)

国際都市神戸の中心に位置するPAとして、国際性・先取制・開放性などの神戸ブランドを取り入れました。1階は南京町をイメージしています。



□エコへの取り組み

LED照明や風除室を設置したほか、泉大津PAでは壁面緑化やミストスプリンクラー、京橋PAでは太陽光・風力発電、雨水利用タンクシステムを取り入れています。



『第2次交通安全対策アクションプログラム』による 3年間で交通事故1,000件減

平成19年に「阪神高速道路の交通安全対策アクションプログラム」を策定し、平成19年度から21年度までの3年間で、目標を超える平成17年度比マイナス1,200件を達成することができました。

平成22年度からは、走行環境改善施策に加え、ドライバーへの施策にも力点をおいた「阪神高速の第2次交通安全対策アクションプログラム」を策定し、平成24年度までの3年間で、平成21年度比1,000件削減、人身事故件数を100件削減することを目標に取り組むこととしました。

□第2次交通安全対策アクションプログラムにおける対策

- ①ドライバーに伝える対策→注意すべきポイントや安全運転のコツなどをドライバーに直接伝える
- ②先の状況が見える対策→ドライバーにとって分かりやすい道路案内を充実させる
- ③ドライバーが安心できる対策→ドライバーが安心して走行できる環境を整備する



伝える(注意地点マップ:イメージ)



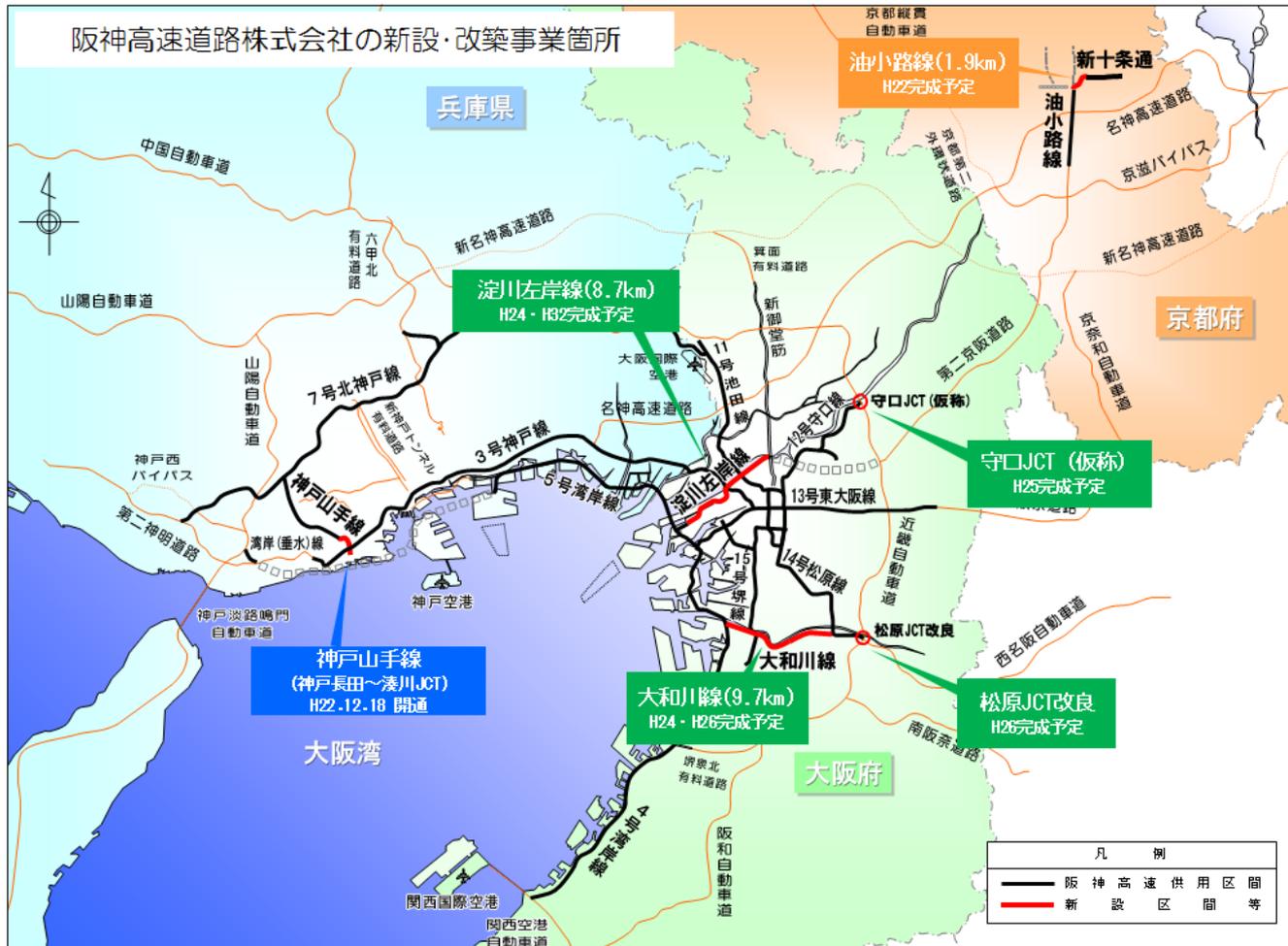
見える(道路案内の改善)



安心できる(カーブ区間での安全対策)

建設中路線の整備促進

大阪、兵庫、京都の各地区において建設中路線の整備を進め、平成22年12月18日には31号神戸山手線(神戸長田～湊川ジャンクション)が開通しました。



◆本資料には将来の予測や見通しに関する記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績等を保証するものではありません。将来の業績等は経営環境の変化などにより、目標と異なる可能性があることにご留意下さい。

【お問い合わせ】

 阪神高速道路株式会社 経理部財務課

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号

TEL: 06-6252-8121(代)

FAX: 06-6251-6930

URL: <http://www.hanshin-exp.co.jp>